

4. ホームページの更新

本節では、今年度実施したホームページの更新内容について整理し、今後の展開について述べる。

(1) コンテンツの更新

PV、イベントの報告など新たなコンテンツを順次格納し、サイトのアップデートを行い、地権者、県民・市民に情報発信の充実を図った。

更新項目及びスケジュールは、以下のとおりである。

【更新項目】	
第1回	H29年度PV「普天間未来予想図 緑の中のまちづくり編」の追加
第2回	イベント開催報告 (宜野湾市立図書館におけるイベント、沖縄県トータルリングショウへの出展)
第3回	緑の中のまちづくり (海外事例編の追加)

【更新スケジュール】

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回	提案 ★	調整		納品 アップ(県) ★ ★			
第2回			提案 ★	調整		納品 アップ(県) ★ ★	
第3回						提案 ★	調整 納品アップ(県) ★ ★

(1) - 1 「緑の中のまちづくり」のページの新設

緑のもたらす効果をグラフや図によりわかりやすく紹介した。
 昨年の海外の事例（シンガポール）の動画もこのページ内に格納した。



動く！を削除

バナー「緑の中のまちづくり」を新設



(1) - 2 イベントの開催報告

8月に宜野湾市民図書館で開催したイベントと10月にブース出展した沖縄県トータルリビングショウの開催結果を会場風景、展示内容、来場者属性、アンケート集計結果を抜粋して来場された方や初めて見る方にも概略がつかめるようにまとめた。2回のイベントの開催時期が1か月半弱と近かったため、ページの作成と更新は同時に行った。

① イベントその1

普天間 飛行場跡地 未来予想図
みなんで考え、動き出している計画の様子を動画でご覧いただけるサイトで

TOP ページ | 計画のポイント (全体計画の中核と見ると) | 未来のまち イメージVR | わかしの風景 探訪 | 東民の声 | 関連リンク | ENGLISH (japanese)

中南部都市圏駐留専用地域利用広域構想 | 跡地利用に伴う経済効果

みんなの声がかる
～アンケートより～

2015年8月7日、普天間本営下野館を、CGアニメーション、音の風景模型や写真、パネルなどで「見て、聞いて、学んで」体験するイベントを開催しました。その時のアンケートから「みんなの声」をご紹介します。

宜野湾市民図書館 開催イベント
2015年8月12日(水)～14日(金)
図書館に来る子供たちを中心に体験してもらったよ!

パネルを見る

会場来場者 638 人
アンケートに回答してくれた人 505 人

アンケートの結果

居住地別の割合 (n=505): 県外 2%, 県内 20%, 宜野湾市民 71%

年齢別の割合 (n=505): 2～5才 8%, 6～15才 50%, 16才～20代 5%, 30代～50代 30%, 60代以上 4%

各質問に、自由に答えていただいたご意見をまとめました

Q 未来のまちは どうなまにになりたいと思いますか?

Q 未来のまちは 何がほしいですか?

Q 未来のまちで 何をしたいですか?

未来のまちには 緑や自然があって 賑やかで元気で 楽しく暮らせることを 期待しているわね。

平気で安全なまちで 遊んだり、スポーツしたり のんびりできることも 欲しいって声が多かったね。

パネルを見る

イントロのコピー
今年2回開催したことの、体験型のイベントであることの紹介
アンケートによる来場者の生の声の紹介があることを伝える

イベント展示内容を写真とコピーで分かりやすく掲載
既存のページがある場合にはリンク先を明記して誘導を図る

来場者の属性を居住地と年代で紹介

会場内で集まったアンケート(フリーアンサー)で集まった声を集計したものを紹介

②イベントその2

**「沖縄県トータルリビングショー」で
いろいろな世代の皆さんに
体験してもらったよ!**

**トータルリビングショー
開催イベント**
2019年10月19日(土)～21日(日) 9:00～18:00
(沖縄コンベンションセンター)

10月

イベント展示内容を写真とコピーで分かりやすく掲載

体験した後アンケートに答えていただきました!

ブース来場者 1,507人
アンケートに回答してくれた人 99人

居住地

西原町	3%
北谷町	3%
うるま市	4%
沖縄市	4%
糸満市	7%
浦添市	12%
那覇市	25%
宜野湾市	28%
その他	14%

職業

学生	6%
会社員	43%
公務員	5%
自営業	10%
その他	26%

年齢

10代	1%
20代	9%
30代	21%
40代	27%
50代	20%
60代	16%
70代	6%

アンケートで回答項目を選んでいただきました

Q. 沖縄県と宜野湾市が共同で、返還を予定されている普天間飛行場の
跡地利用計画策定に向けた検討を行っていることについて知っていましたか?

年代	知っていた	知らなかった
70代	80%	20%
60代	33%	67%
50代	63%	37%
40代	46%	54%
30代	50%	50%
20代	67%	33%
10代	100%	0%

Q. 普天間飛行場跡地が、どんなまちになったら良いと思いますか? (複数回答)

自然が楽しめる緑の中のまち	58
歴史・観光客が楽しめるまち	42
公共交通が充実したまち	35
環境に配慮したまち	34
生活利便性の高いまち	26
災害に強いまち	22
世界中の人と交流できるまち	21
歴史・文化が見えるまち	20
企業や先端産業が集まるまち	16
その他	3

「未来にワクワクした」
「もっと多くの人に知らせて欲しい」
「みんなで考えていきたい」
って声も多かったよ。

こちらのアンケートでも
自然と緑が多く
みんなが楽しめる
未来のまちへの期待が
多かったわね。

これからも みなさんのご意見をお聞かせ下さい

Copyright © 普天間飛行場跡地 未定子会館 All Rights Reserved

イベント展示内容を写真とコピーで分かりやすく掲載

来場者の属性を居住地と年代、職種で紹介

会場内で集まったアンケート（フリーアンサー）で集まった声を集計したものを紹介

(1) - 3 緑の中のまちづくり (海外事例)

「緑の中のまちづくり」ページの中の新たなリンクボタンを設置し、海外事例紹介ページを新設した。

オーストラリアの事例を今年度のイベント (図書館) でのアンケート回答上位 (自然、緑、水、安心安全、人が集まる、賑やか、元気、楽しい) の視点で捉え、跡地利用計画のなかで緑の中のまちづくりに活かそうアイデアを、写真を中心に分かりやすく紹介するページとした。

「緑の中のまち」事例のひとつ、オーストラリア

2018年の長野県で開催したイベントでのアンケート結果から市民のみなさんの関心が高かった3つのポイント

- 自然あふれる緑のあるまち
- 人が集まる、賑やかなまち
- 道路や公共交通

「緑の中のまちづくり」の先進国で調べてきました。

カーテンシティメルボルン ★世界中で「最も住みやすいまち」7年連続 NO.1 <EIU (英国の調査機関) 調べ>

自然あふれる緑のあるまち

サウスワープブルムナード 緑の水辺

メルボルンのシンボル、ヤラ川の南側に沿って整備された歩行者空間。復元された遺産の貨物倉庫や、リバーサイドレストラン、お土産屋などが立ち並び人気スポット。近くにはコンベンションとエキシビジョンセンター等もあり、多くの観光客や地元の人々で賑わっています。

人が集まる、賑やかなまち

フェデレーション・スクエア ユニークな文化の中心地

博物館、美術館、レストラン、カフェ、バーが多数集まる創造性に富んだ広場。多文化のフェスティバル、マーケット、映画の上映会、スポーツ・イベントなど、年間2000件を超えるイベントが開催されています。

道路や公共交通

市内中心部を走るトラムは無料

市内の駐輪は自転車リサイクルボックスにありませう！

多層や中層の建間に空気を採りこむ設計

「新外観」観光客の車でも、まちを美しくさせる！

知的創造都市 アデレード ★公園が市民のプライド

自然あふれる緑のあるまち

ヴィクトリア公園 (スクエア) 裁判所や州知事官邸、大学、郵便局、ホテル等の主要施設や歴史ある建物が集まる地区の中心に広がる大きな公園。人々の憩いの場として親しまれています。

四方を緑豊かな公園に囲まれたまちの中心部

ボタニック・ガーデン 自然を満喫できる大庭園。動物園や野外劇場もあり、住民や観光客の憩いの空間として親しまれています。学校の課外学習や観光ツアーにも利用されています。

人が集まる、賑やかなまち

ランドルモール 「歩ける街」が人を引き付ける魅力

1973年、メインストリートの1本を車両通行止めにして歩行者専用道路に。100年の歴史と洗練された現代の建築が融合された全長550mのこの通りは街の中心地として発展しています。

路上ライブ ユニークなアート

フェスティバルセンター界隈 世界中から人が集まるお祭り広場

1973年、メインストリートには、美術館やコンベンションセンター。世界的な芸術祭が開かれるフェスティバルセンターが並び、対岸のスポーツ公園とともに、多くの市民と観光客で賑わっています。

アデレードの代表的風景に！

道路や公共交通

バス、トラム、電車により、充実したネットワークが結ばれている市内中心部。まちを囲む公園や中心部重要な公園 (スクエア) をつなぎ、生活と公園の結びつきを深くする公共交通です。市内循環バスと、トラムは無料です。

トラムの線路内は芝生で緑化

鮮やかな色彩の市内循環バス

工場跡地を利用した再開発の例 シドニー ★まちの価値を高め、人口増加！

自然あふれる緑のあるまち

広大な工場跡地を活かした「都市の再生」

住宅とオフィス、商業を両立させ、大企業誘致により1万人の雇用を生み出します。

公園や広場、遊歩道を両立させ、住み心地のよいまちをめざしています。

Locomotive Workshop まちの歴史を伝える「遺跡保全と活用」

工場跡地の一部は、この場の歴史を伝える博物館になっています。

まちの緑の中に、歴史をつたえるオブジェ

「緑の中のまち」事例のひとつ、シンガポール

「緑の中のまちづくり」の先進国

(2) 今後の展開

今年度までに毎年コンテンツの更新を行いながら、中身の充実を図ってきた。現状のサイトで見られるコンテンツは以下のとおりである。

- ・ 未来のまちVR（動画）
「中央エリア」「北側エリア」「南側エリア」
- ・ 動画で見る普天間未来予想図（中間取りまとめ）
- ・ 緑の中のまちづくり（海外事例動画もあり）
- ・ 模型で見る昔の風景（字宜野湾・字神山まちまーい体験報告含む）
- ・ ゆめのあるぎのわんみらい（児童生徒絵画コンクール受賞作ギャラリー）
- ・ 県民の声（地権者、市民の活動紹介、体験イベント紹介、絵画コンクール紹介、跡地利用計画提案コンペ受賞作紹介）
- ・ 中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想
- ・ 跡地利用に伴う経済効果
- ・ 関連リンク
- ・ 中間取りまとめ（英語版）



情報発信・意見聴取を目的として、今までに制作・実施してきたコンテンツが結集して格納されており、言ってみればアーカイブとしてのサイトとなっている。地権者や地元の若手の方々の活動も紹介されているので、普天間飛行場跡地利用の概要を知るために役立つ内容が揃っている。

例えば、地元の小中学生の学習参考資料、一般の方や地権者に使いやすいようPDFデータでの出力も対応可能にすることや、普天間飛行場について初めて触れる方にも一通り把握できるよう、ガイド的な機能をもたせてユーザビリティを高めていくことが考えられる。

また、スマートフォンやタブレットなどPC以外での環境でも見られるようレスポンシブレイアウト対応も考えられる。

■ レスポンシブ（例）

